森
によりそい
未来
をつくる。

トヨタの森

里山型自然体験 | 環境学習

森によりそい
未来をつくる。

人と自然が
共生する社会へ

近年、地球環境への負荷はますます深刻化しています。

私たちトヨタの使命は、クルマの環境負荷をゼロに近づけることはもちろん、

地球・社会にプラスとなる取り組みを通じ、持続可能な未来を作り上げることです。

2015年10月に公表した「トヨタ環境チャレンジ2050」はこの命題に応えるべく、

人と自然とクルマが共生する社会を目指して策定した新たな指標です。

本誌でご紹介する「トヨタの森」は、すべての人が森に触れ、

生命の尊さと多様性を学ぶことができる取り組みのひとつです。

トヨタは今後も地球環境の諸問題と真摯に向き合いながら、

持続可能な社会の実現に貢献するため、新たなチャレンジを展開していきます。

活動例

- トヨタ白川郷自然學校
- 豊森なりわい塾
- トヨタ三重宮川山林
- トヨタ環境活動助成プログラム
- 工場の森づくり

■トヨタの森

自然体験

森林整備

動植物の生態調査

街のとなりの、大自然。

トヨタの森とは

豊田市市街地から約8キロ。矢作川と巴川に挟まれた丘陵地帯に、トヨタの森は広がっています。
コナラやアベマキなどを中心とした雑木林で、谷部には水田跡があり、
かつて生活に必要だった薪などを採取していた、いわゆる里山として利用された森です。
東京ドーム9個分の広大な敷地は、多種多様な動植物の恰好の住処。
慌ただしい街の喧騒をよそに、ここでは生命がそれぞれのリズムで成長する、
ゆっくりとした時間が流れています。

■ 年表

1992年	「トヨタの森計画」策定・調査研究開始
1996年	社有林で里山整備を開始
1997年	トヨタの森 オープン
1998年	環境教育プログラム「エコのもりセミナー」開催（～2005年）
	整備効果を測定する「エコモニタリング」実施（～2008年）
2001年	地域の小学生を対象とした、自然ふれあい体験プログラムを開始
2003年	「里山学習館　エコの森ハウス」オープン

■ 主な実績

1999年	「みどりの日」自然環境功労者表彰　受賞
2004年	「第24回　緑の都市賞　国土交通大臣賞」　受賞
2010年	「第1回いきものにぎわい企業活動コンテスト」審査委員長賞 受賞
2011年	「社会・環境貢献緑地評価システム(SEGES)」 スパラティブ・ステージ（最高位）認定
2015年	「第3回 みどりの社会貢献賞」受賞
2016年	来訪者数累計15万人を達成

これからの里山を考える。

21世紀の里山づくり

「山で柴を刈り、川で洗濯する」。
私たちが目指すのは、それとはちょっと違う里山。
人は住まないけれど、手入れを続けることによって、
自然の恵みを感じ、学ぶことができる里山です。

里山とは

里山とは、集落の近くにあり、人々が生活のために利用することで生物多様性が維持されてきた環境を指します。しかし、エネルギー資源の転換に伴いライフスタイルは大きく変化しました。そこでトヨタの森では、だれでも気軽に立ち寄ることができ、自然の素晴らしさや価値を学ぶことができる場の提供を目的に里山環境の再生を行っています。

里山の活用

トヨタの森では里山環境を保全するとともに、それを活用した取り組みを行っています。

整備

多種多様な動植物が生きる
豊かな森を目指し、
里山の整備を実施

調査

整備によって森が
どのように変わっていくかを
継続的に調査

教育

多くの方に自然の魅力を感じて、
楽しく学んでもらえる
プログラムを実施

森づくりの視点

訪れた人が、自然と遊び、感じ、体験することで命のつながりに気づく。そんな風に人と自然をつなぎ戻す森を目指しています。

1 生物多様性の保全

希少な動植物を保全するとともに、多様な生き物を呼びこむために、森をエリア分けし、整備方針に基づいて木の伐採や草刈りなどを行っています。

2 自然を身近に感じるための工夫

訪れる人が自然の魅力を身近に感じられるよう五感を使って楽しんだり、生き物を観察しやすい工夫をしています。

巣箱にモニターカメラを設置し、
いつでも観察できる

写真提供：杉山時雄

森を知り、森から学び、森に寄りそいながら。

日本は、国土の約7割を森林が占める、世界有数の森林資源を持つ国です。
現在に至るまで人々は、森の恵みを受けながら生活し、文化を築いてきました。
森はCO_2の吸収、生物多様性の保全、水源かん養などの
公益的機能を有し、地域・社会の重要な基盤です。
トヨタは環境社会貢献活動の一環としていち早く里山の役割に注目し、
1995年に豊田市郊外で里山整備を開始、1997年に「トヨタの森」をオープンしました。
森について知る。森から学ぶ。そして、森に寄りそう。
この森を舞台に、豊かな未来の環境づくりをみなさんと目指していきます。

地域に開かれた環境教育の場として。

トヨタの森　全体マップ

総面積約45ヘクタール、豊田市市街地より
東南東8km・標高30〜130mに位置するトヨタの森。
どなたでも自由に散策いただけます。

里山学習館　エコの森ハウス

「エコの森ハウス」は、トヨタの森の活動をより深く知っていただくための拠点です。季節ごとに見られる森の生き物などを紹介するとともに、薪ストーブや囲炉裏、かまどなど里山の資源を利用した暮らしにも触れることができます。

わくわく、てくてく、森めぐり。

トヨタの森　見どころ紹介

トヨタの森全45ヘクタールのうち、約15ヘクタールを中心として
自然体験学習や各種イベントを行なっています。
動植物や見晴台など魅力的なスポットがたくさんあります。

わくわく ムササビコース

所要時間 約40分

アップダウンが少なく歩きやすいコースです。散策路沿いにムササビの巣箱を10個ほどかけており、運が良いと昼間でも顔を出していることもあります。春にはコバノミツバツツジが咲き、秋にはアベマキの大きなドングリが実ります。五感を使って森を楽しむための整備を行なっています。

てくてく シデコブシコース

所要時間 約60分

ややアップダウンがある健脚向きのコースです。水田放棄地を整備し、湿生生物観察園（湿地）として開放しています。3月下旬には東海地方特有の植物であるシデコブシが咲きます。また、2月ごろからおたまじゃくしが、5月から8月にかけては世界最小クラスのハッチョウトンボがあちこちで見られます。冬には野池で羽を休めるカモが見られます。

わくわくムササビコース

見どころポイント

A1 触ってごらん

A2 一本橋

A3 ムササビの巣箱

A4 コバノミツバツツジ

てくてくシデコブシコース

見どころポイント

B1 アカガエル

B2 ハッチョウトンボ

B3 シデコブシ

B4 湿生生物観察園

写真提供：川田奈穂子（K）、杉山時雄（S）、原田秋男（HA）

ひとと里山の、心地いい関係づくり。

トヨタの森に常駐する「インタープリター」は、
いわば森の案内人。もともとは通訳の意味。
「ひとと里山の仲介者」として、彼らをそう呼んでいます。
自然のしくみや、生き物の名前をただ説明するのではなく、
みなさんが心で感じ、気づき、
自ら考えるお手伝いをするのがインタープリターの仕事です。
ひとと里山の心地いい関係を、彼らがつくってくれています。

感じる。自然からのメッセージ。

自然体験プログラム

トヨタの森では、整備することで
元気になった森を活用し、
五感で生命を感じる機会をご提供しています。

小学校体験学習

地域の小学校を中心に、授業での受け入れを行っています。
先生方のご要望に合わせ、オーダーメイドでプログラムを実施しています。
インタープリターの案内で森を歩き、五感を研ぎ澄まして全身で生命を感じるプログラムを開催しています。

その他にも、企業やサークルでのご視察や個人の森歩きなど、様々な場面でのご利用を承ります。

私たちインタープリターがご案内いたします。

私たちインタープリターは、森での活動体験を通して、みなさまが生命の繋がりを知り、自然を大切にする気持ちを育むお手伝いをしています。自然の「不思議さ」や「面白さ」を感じ、人と自然について学びのきっかけとしていただければ幸いです。笑顔が生まれる、未来が育つ、そんな森を目指して活動しています。

トヨタの森 インタープリター一同

大人も子どもも楽しめるプログラム。

イベント紹介

トヨタの森では、一年を通じて体験プログラムを
多数開催。変わりゆく季節を感じながら、
大人も子どもも心に残る体験ができます。

心に残る 原体験

「楽しい」や「おもしろい」と感じる体験から、自然を大切に思い、もっと知りたいと思う気持ちを育むことをねらいとしています。

トヨタの森で遊ぼう

思いきり体を動かしたり、
森の素材で工作をしたり、
家族で楽しめるプログラムです。

ふしぎ はっけん！森の探検隊

五感を使って森の中を探検し、
自然と命を感じるプログラムです。

生き物について学ぶ

動植物の生態やその周辺環境について学び、保全活動などの行動につなげることをねらいとしています。

里山の生き物に学ぶ

専門家による講演やフィールドワークを通じて、
保全活動について考えるプログラムです。

夏休み 家族で楽しむ森の学校

森や水辺の生き物を探して
ちょっとした研究をします。

暮らしを見つめる

自然と親しむ体験を通して今の暮らしを見直すきっかけとなることをねらいとしています。

里山とくらし

里山のくらし体験を通して、自然の恵みを感じ、
人と自然のつながりを考えます。

つくって楽しむ森の四季

自然の素材を使って、季節に合わせた
ものづくりを行うプログラムです。

◎イベントの内容は毎年変わります。詳しくはお問い合わせください

写真提供：川田奈穂子

動物400種以上、植物450種以上。

広大な里山・トヨタの森には、
たくさんの生き物や植物が生息しています。
これまでにわかっているだけでも、
動物400種以上、植物450種以上。
中には国や県のレッドデータブックで絶滅危惧種に
指定されている希少な種も含まれています。
トヨタの森では、動植物の生息・生育を継続的に調査し、
森の手入れによって、それがどのように変化していくかを
把握するようにしています。
自然の営みはとてもゆったりとしたもの。
根気よく、継続して調査を行っていくことが大切です。

生き物のこと、もっと知りたい。

トヨタの森　森の取り組み

森をきちんと手入れし、森が持っている働きを失わないようにすることで、生き物たちを呼び込む…。トヨタの森では、こうした「里山の再生」を行いながら、その変化を調べ、結果を次の整備に生かしています。

1 シデコブシ・ハルリンドウの保全

シデコブシは東海3県の限られた湿地にしか生息しておらず、絶滅危惧種にも指定されています。シデコブシやハルリンドウは明るい湿地環境を好むため、周りの木を切ることで光が入るようにしています。

シデコブシ

ハルリンドウ

2 ササユリの保全

里山の代表的な植物の一つであり、明るい環境を好むササユリのために周囲の木を切ったり、下草を刈ったりしています。

ササユリ

3 カエルの待ち伏せ場所

カエルの繁殖期にオスがメスを待ったり、産卵したりするための空間を、池の脇に設置しています。

カエルの待ち伏せ箇所

シュレーゲルアオガエルの産卵

ヒキガエル

4 ムササビの巣箱と温度計

ムササビは夜行性のため昼間はほとんど見ることはできませんが、巣箱に温度計をつけることで中にムササビがいることが分かるようにしています。

ムササビの巣箱

温度計

5 フクロウの止まり木

横枝を残した枝打ちをすることでフクロウの止まり木となり、その下で糞やペリットが見られるようにしています。

※ペリット…
食べた獲物の毛や骨を吐き出した塊。

フクロウ

ペリット

6 センサーカメラの設置

動物たちが通る道にカメラを仕掛けておくことで、直接出会うことが難しい動物がこの森で暮らしていることが分かるようにしています。

センサーカメラ

7 湿地の草刈り

季節や場所に応じて草を刈る面積や高さ、残す植物を変えたり、草を抜き取って広い水辺を作ったりすることで、様々な生物が棲める環境を目指しています。

ハッチョウトンボの保全

草丈の低い環境を好むハッチョウトンボのために夏場は定期的に草刈りをしています。トンボの羽化は夜から午前中にかけて行われることが多いため、作業は午後に行います。

ハッチョウトンボ

カヤネズミの巣

湿地に草を編んで巣を作るカヤネズミのために、春から秋に草を刈らないエリアをつくります。

カヤネズミの巣

森の生きものたち

四季折々の森の風景。

春 Spring に見られる動植物のご紹介

カモシカ

キビタキ

ジュウカラ

シュレーゲルアオガエル

ホソミオツネントンボ

ムカシヤンマ

ウラナミアカシジミ

ルリタテハ

ビロードツリアブ

コバノミツバツツジ

シデコブシ

シュンラン

ショウジョウバカマ

ノアザミ

ハルリンドウ

ヘビノボラズ

夏 Summer に見られる動植物のご紹介

ヤマガラ

トノサマガエル

オニヤンマ

オオシオカラトンボ

アゲハ

カブトムシ

ゴマダラカミキリ

ノコギリクワガタ

ヤマトタマムシ

ツクツクボウシ

オオトリノフンダマシ

オミナエシ

カキラン

キキョウ

サギソウ

ミズギボウシ

秋 に見られる動植物のご紹介

Autumn

ニホンリス

ジョウビタキ

メジロ

オオアオイトトンボ

マユタテアカネ

アサギマダラ

ツマグロヒョウモン

コバネイナゴ

オオカマキリ

オオスズメバチ

アベマキ

オケラ

カキ

サワヒヨドリ

リンドウ

アカイボタケ

冬 に見られる動植物のご紹介

Winter

キツネ

テン

シロハラ

ツグミ

トラツグミ

ノスリ

ルリビタキ

アズマヒキガエル

ヤマアカガエル

ウラギンシジミ

ツチイナゴ

オオゴキブリ

クロスジフユエダシャク

ソヨゴ

フユイチゴ

マンリョウ

写真提供：伊吹あゆみ(I)、大原満枝(O)、川田奈穂子(K)、小出恭章(KY)、杉山時雄(S)、原田秋男(HA)、原田けいこ(HK)

森によりそい
未来をつくる。

トヨタの森

里山型自然体験 | 環境学習

お問い合わせ

トヨタの森 里山学習館 エコの森ハウス

TEL 0565-58-2736 FAX 0565-58-2855
メール mail@toyotanomori.jp

■開館時間／9:00〜16:30（入場は16:00まで）
■休館日／土曜・日曜のほか、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始には1週間程度の休館日を設定しておりますので、お問い合わせください。

公共交通機関
■愛知環状鉄道「三河豊田」駅より タクシーで15分
■名鉄「豊田市」駅・愛知環状鉄道「新豊田」駅 より タクシーで20分

お車でお越しの方
■伊勢湾岸自動車道「豊田東IC」より15分
■東海環状自動車道「豊田松平IC」より15分
■トヨタ自動車本社より10分

所在地 〒444-2225 愛知県豊田市岩倉町一本松1番地-1

発行年月 2017年3月
発 行 者 トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部

TOYOTA